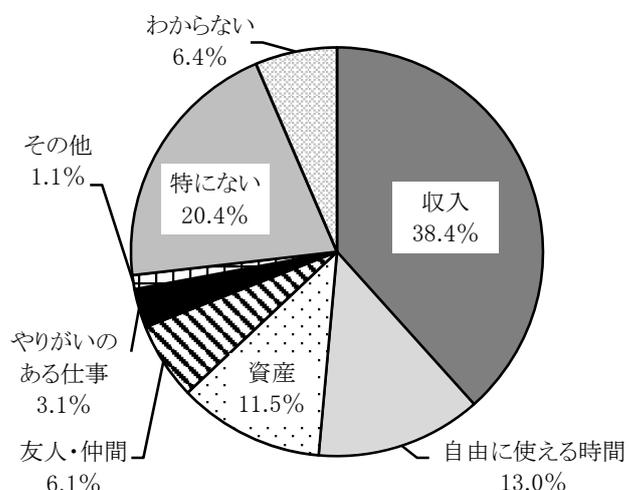


問8 普段の生活で不足しているもの

あなたが普段の生活の中で最も不足していると思うものはなんですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

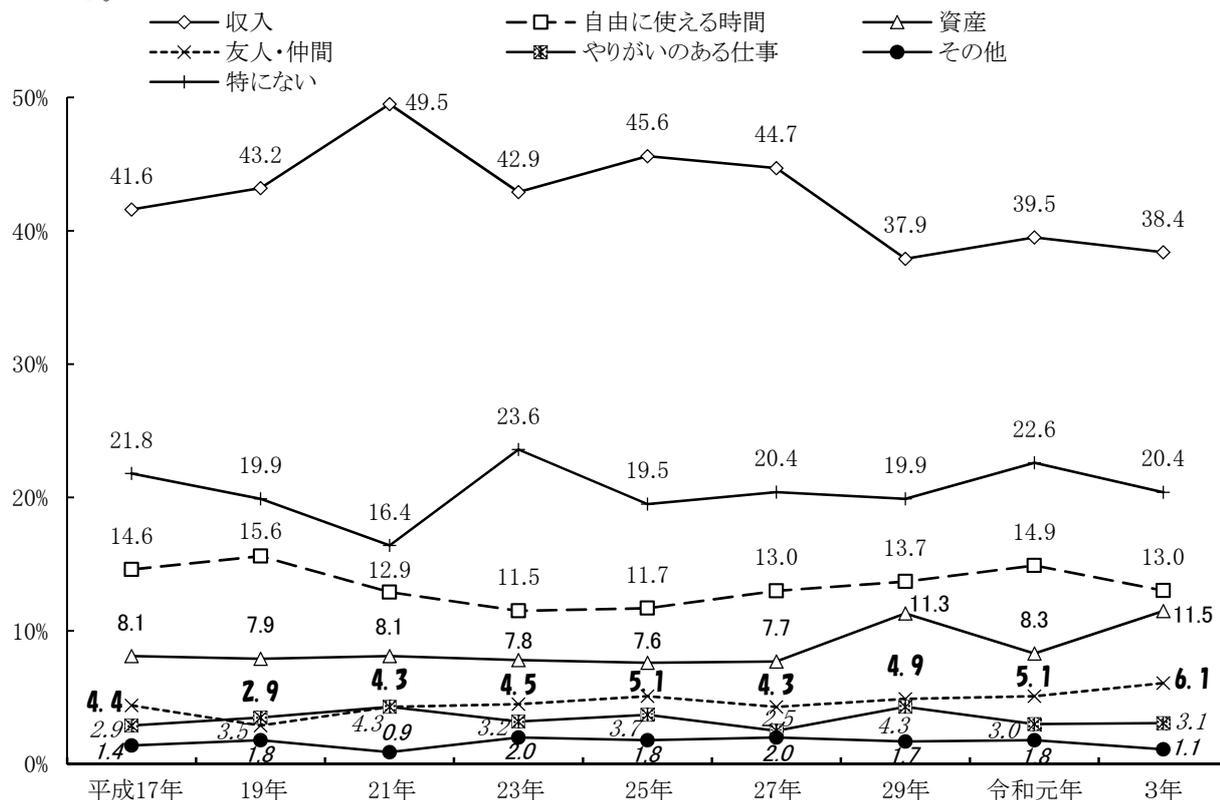
	(%)
1 自由に使える時間	13.0
2 収入	38.4
3 資産（土地、家屋、預貯金等）	11.5
4 やりがいのある仕事	3.1
5 友人・仲間	6.1
6 その他	1.1
7 特にない	20.4
8 わからない	6.4

普段の生活の中で最も不足していると思うものを聞いたところ、「収入」と答えた人の割合が38.4%と最も多く、以下「自由に使える時間」（13.0%）、「資産（土地、家屋、預貯金等）」（11.5%）などの順となっている。また、「特にない」と答えた人の割合は、20.4%となっている。



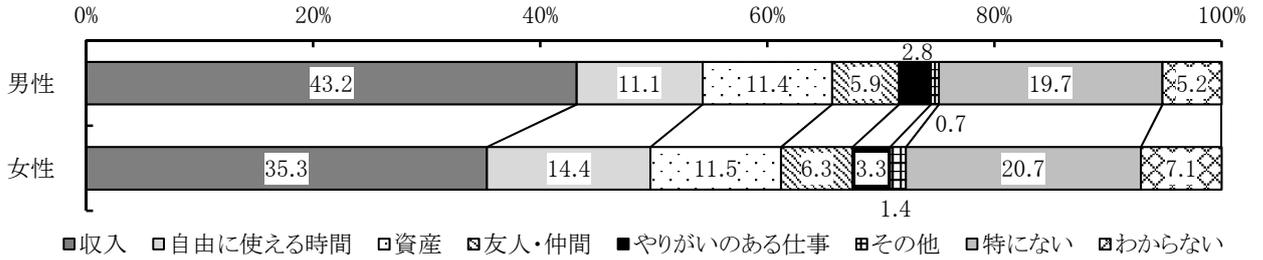
【経年変化】

前回調査と比較すると、「資産」と答えた人の割合が、3.2ポイント増加している。また、「特にない」と答えた人の割合が、前回調査と比較して2.2ポイント減少し、「自由に使える時間」も1.9ポイント減少している。



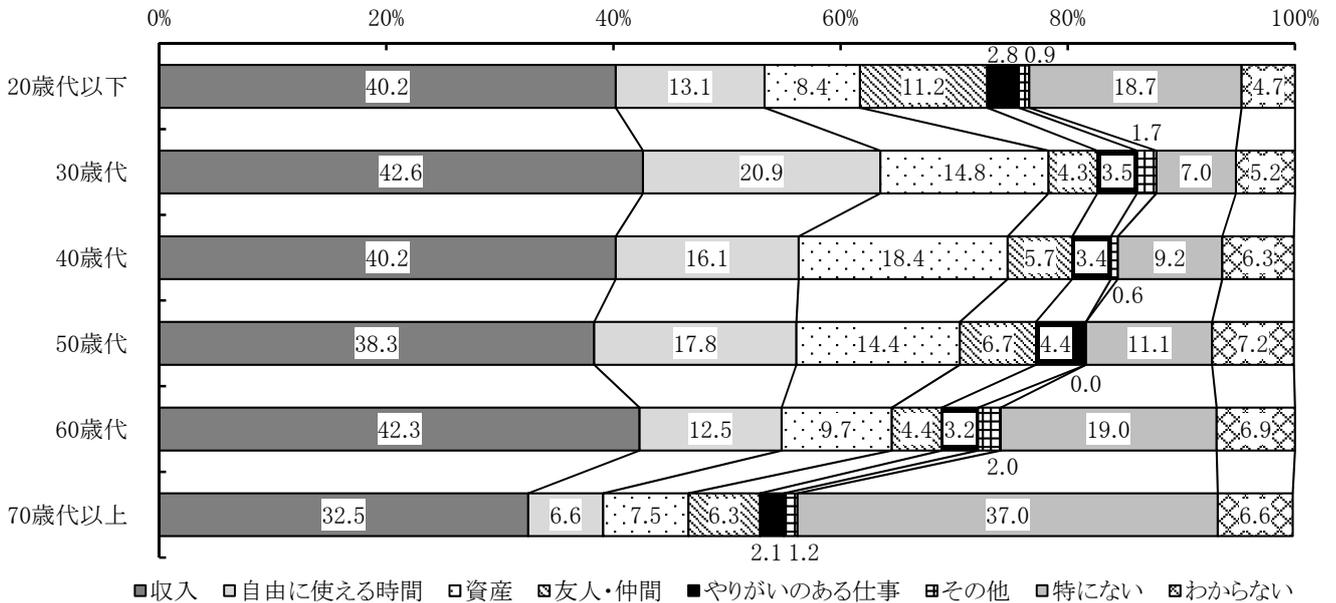
【性別】

性別にみると、男女共に「収入」と答えた人の割合が最も多くなっている。(男性 43.2%、女性 35.3%)
 また、前回調査と比較すると、男性では「自由に使える時間」が 4.8 ポイント減少し、女性では「資産」が 3.9 ポイント増加している。



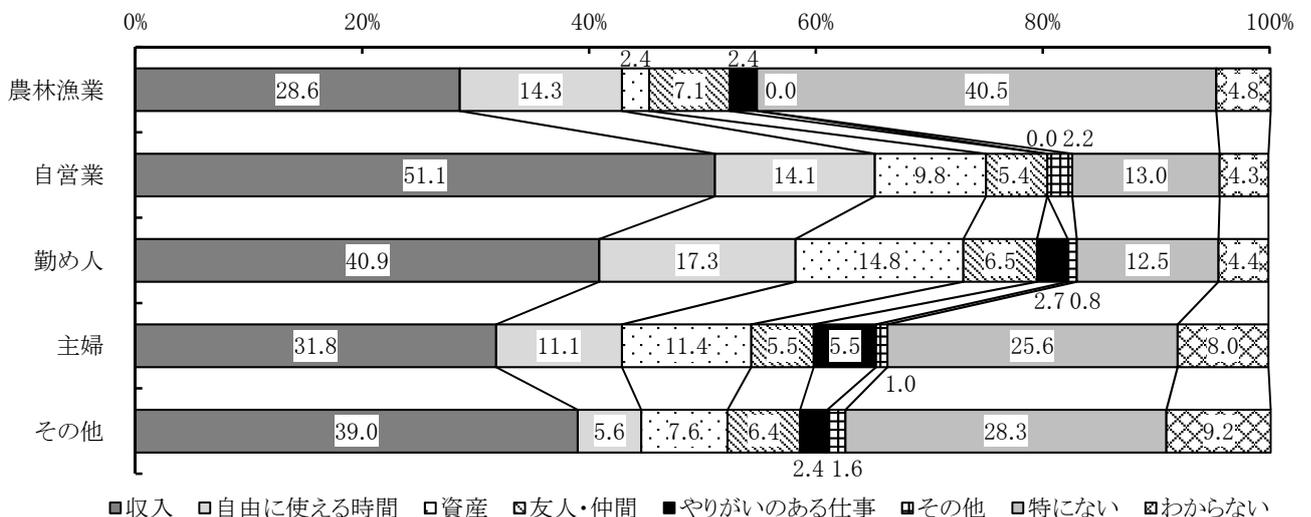
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で、「収入」と答えた人の割合が最も多くなっている。
 また、前回調査と比較すると、30歳代では「収入」と答えた人の割合が 6.8 ポイント増加している。40歳代及び50歳代では「資産」と答えた人の割合が、40歳代では 8.1 ポイント、50歳代では 8.0 ポイント増加している。



【職業別】

職業別にみると、農林漁業を除く全ての職種で、「収入」と答えた人の割合が最も多く、農林漁業では「特にない」が最も多くなっている。
 また、前回調査と比較すると、「収入」と答えた人の割合は、農林漁業では 11.8 ポイント減少している。「資産」と答えた人の割合は、主婦では 6.2 ポイント、勤め人では 3.9 ポイント増加している。

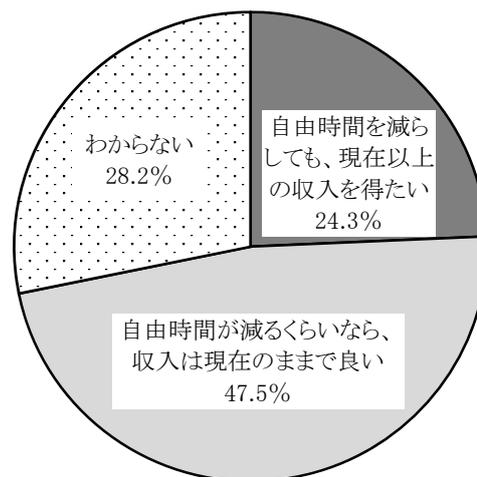


問9 自由時間と収入についての考え方

あなたは、自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思いますか。それともそうは思いませんか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

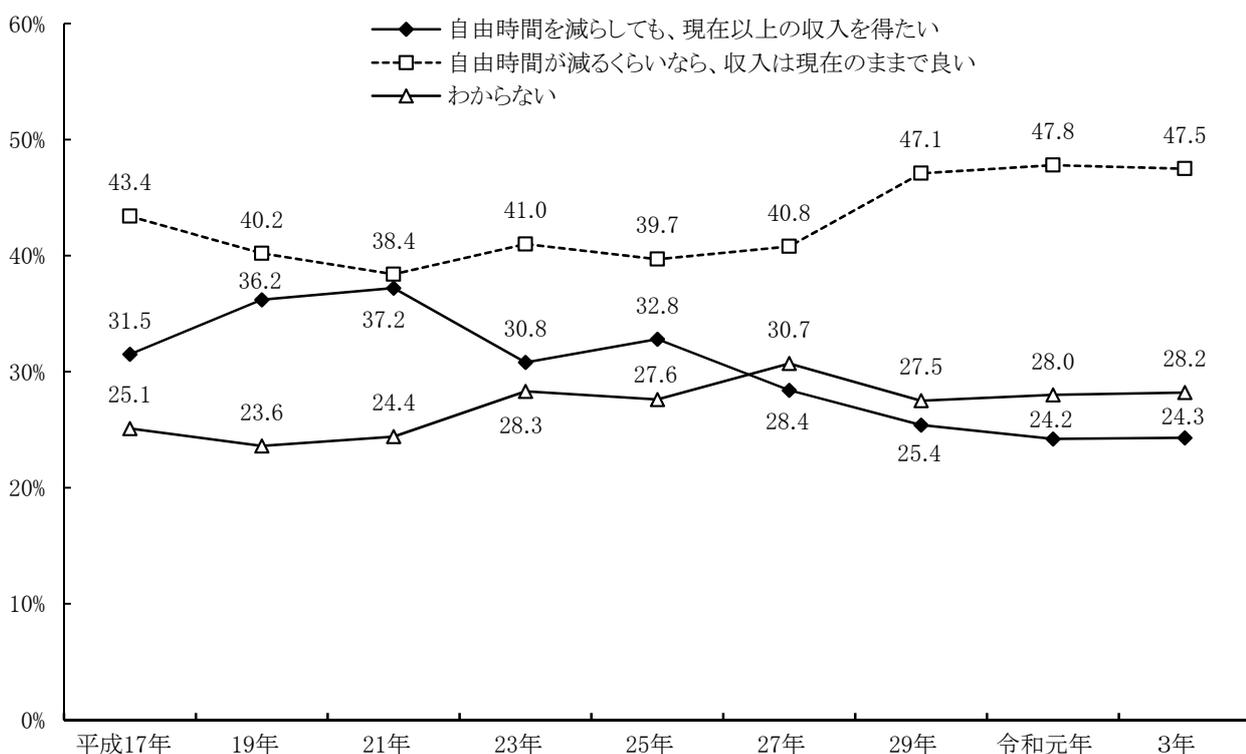
	(%)
1 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい	24.3
2 自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い	47.5
3 わからない	28.2

自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思うか、それともそうは思わないかを聞いたところ、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」（収入派）と答えた人の割合が24.3%、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」（自由時間派）が47.5%で、自由時間を重視する人の割合の方が、23.2ポイント多くなっている。



【経年変化】

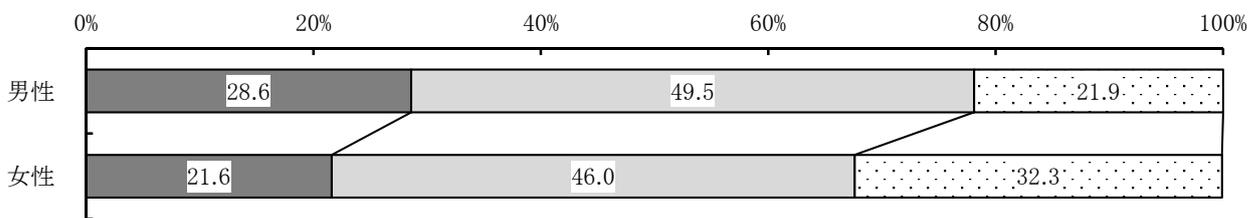
前回調査と比較すると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は、0.1ポイント増加し、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」は、0.3ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合は男女共に最も多く（男性 49.5%、女性 46.0%）、男性の方が 3.5 ポイント多くなっている。

また、前回調査と比較すると、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合は、男性で 2.2 ポイント増加し、女性で 2.4 ポイント減少している。

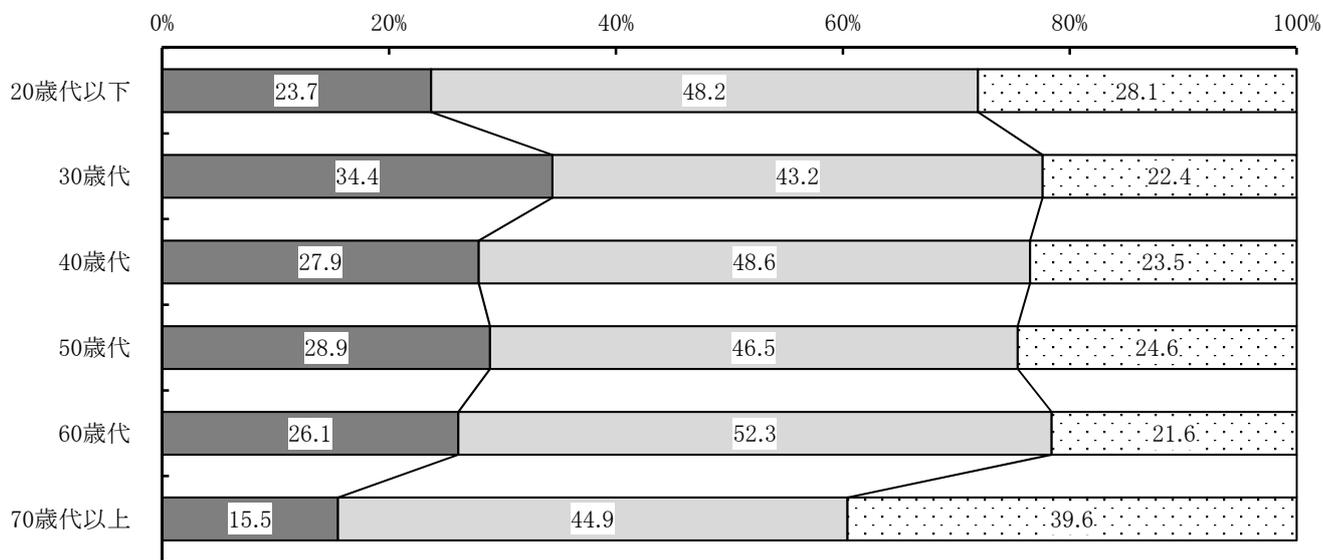


■自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい □自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い ▨わからない

【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、前回調査と比較すると、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合は、30歳代で 12.8 ポイント減少している。

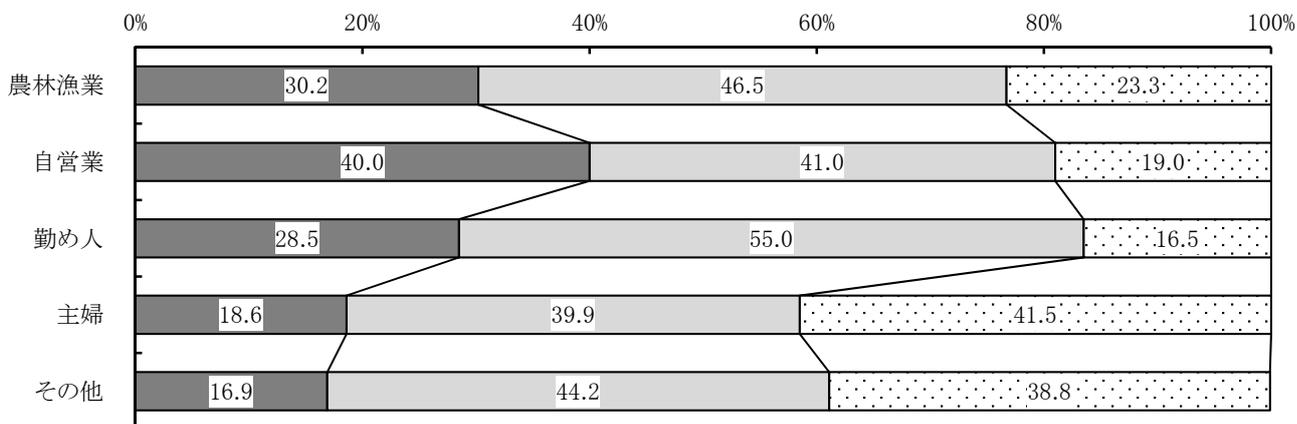


■自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい □自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い ▨わからない

【職業別】

職業別にみると、全ての職種で、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、前回調査と比較すると、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合は、農林漁業で 12.2 ポイント減少している。



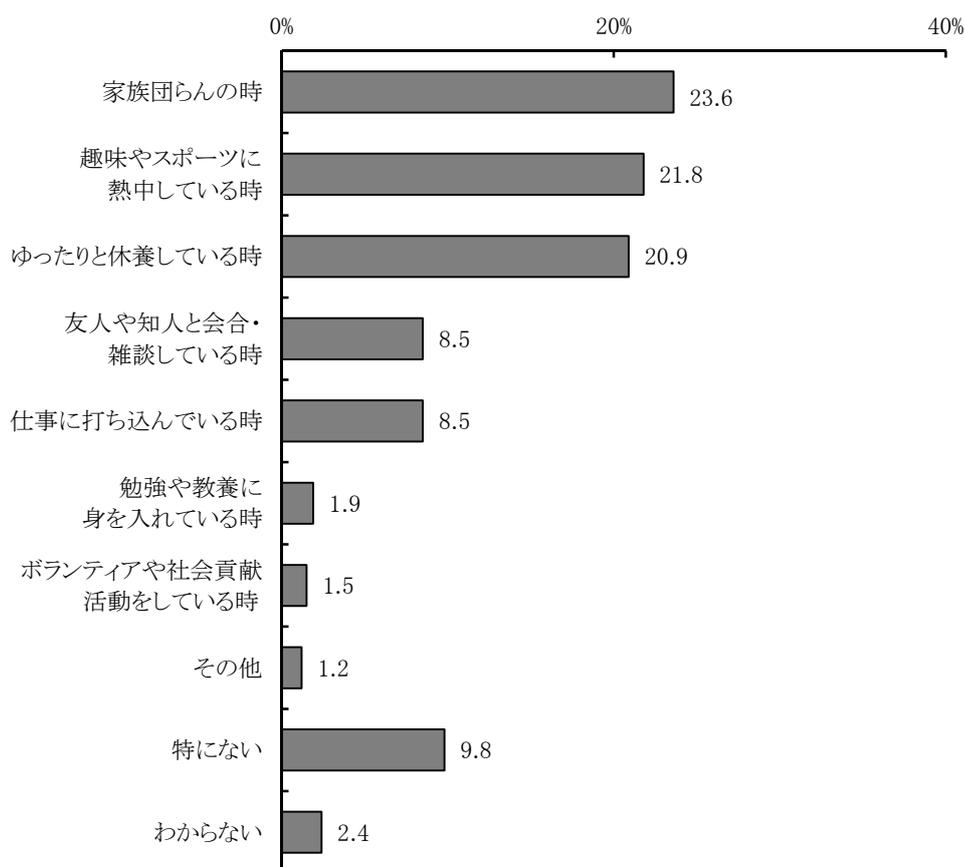
■自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい □自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い ▨わからない

問 10 日常生活で充実感を感じる時

あなたは、日頃の生活で充実感を感じるのは主にどのような時ですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 仕事に打ち込んでいる時	8.5
2 勉強や教養に身を入れている時	1.9
3 趣味やスポーツに熱中している時	21.8
4 ゆったりと休養している時	20.9
5 家族団らんの時	23.6
6 友人や知人と会合・雑談している時	8.5
7 ボランティアや社会貢献活動をしている時	1.5
8 その他	1.2
9 特にない	9.8
10 わからない	2.4

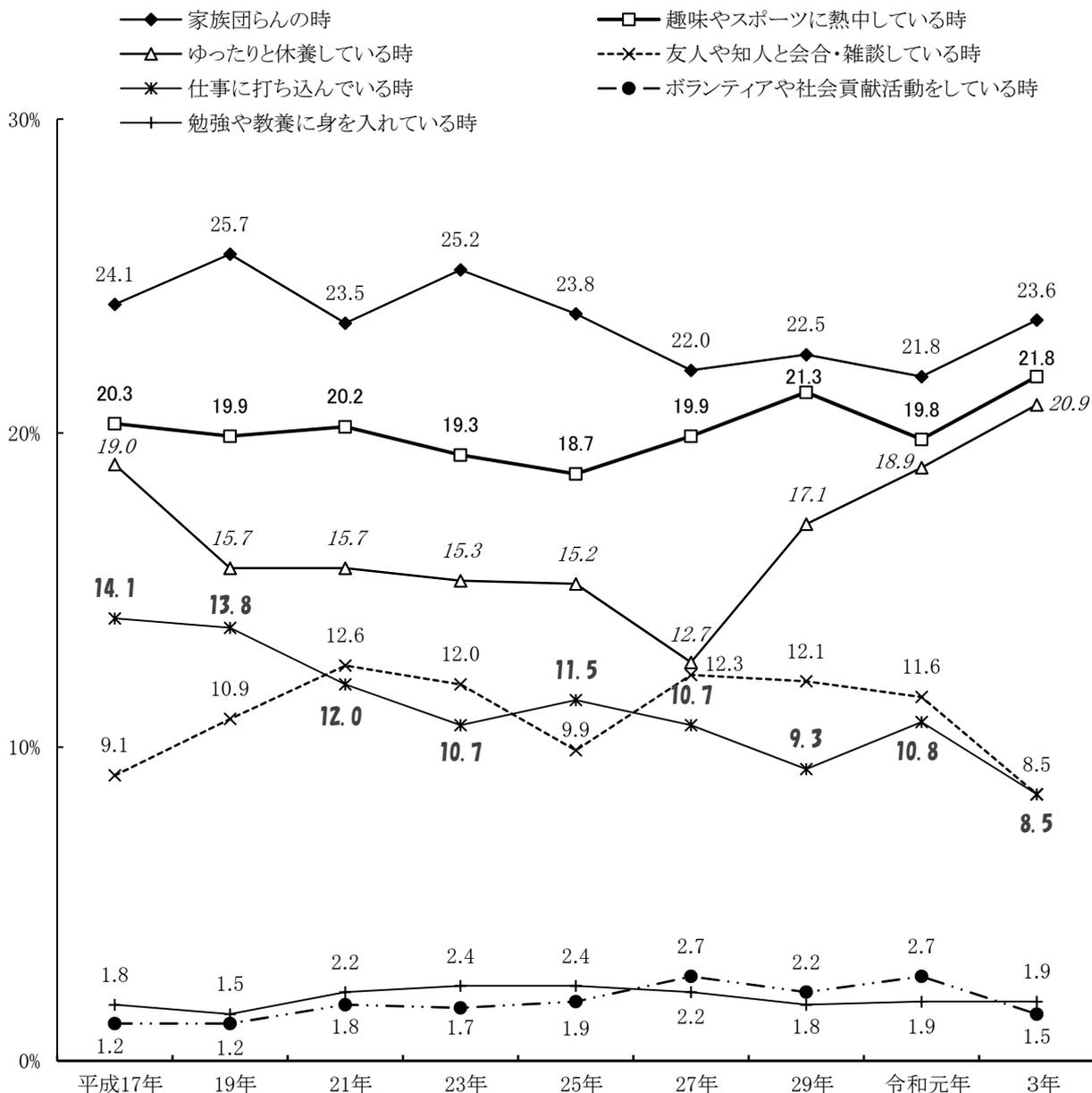
日頃の生活で充実感を感じるのはどのような時かを聞いたところ、「家族団らんの時」と答えた人の割合が23.6%と最も多く、以下「趣味やスポーツに熱中している時」(21.8%)、「ゆったりと休養している時」(20.9%)、「友人や知人と会合・雑談している時」(8.5%)、「仕事に打ち込んでいる時」(8.5%)などの順となっている。



【経年変化】

経年変化をみると、平成17年調査以降では、「家族団らんの時」と答えた人の割合が、2割以上で最も多く、前回調査と比較して、1.8ポイント増加している。また、「ゆったりと休養している時」と答えた人の割合は、平成17年調査以降は減少傾向にあったが、平成27年調査から増加傾向に転じ、前回調査と比較して、2.0ポイント増加している。

この他、「趣味やスポーツに熱中している時」と答えた人の割合は、前回調査と比較して2.0ポイント増加し、「友人や知人と会合・雑談している時」は、前回調査と比較して3.1ポイント、「仕事に打ち込んでいる時」は、2.3ポイント減少している。

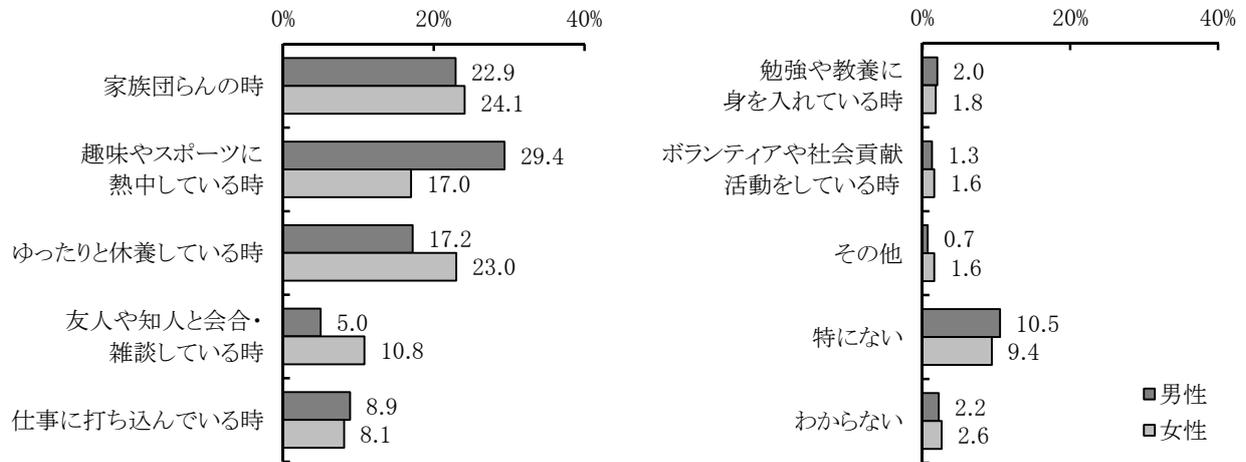


【性別】

性別にみると、男性では「趣味やスポーツに熱中している時」(29.4%)、女性では「家族団らんの時」(24.1%)と答えた人の割合が最も多い。

男性では、「趣味やスポーツに熱中している時」と答えた人の割合が、女性よりも12.4ポイント多く、女性では、「ゆったりと休養している時」及び「友人や知人と会合・雑談している時」と答えた人の割合が男性よりも5.8ポイント多い。

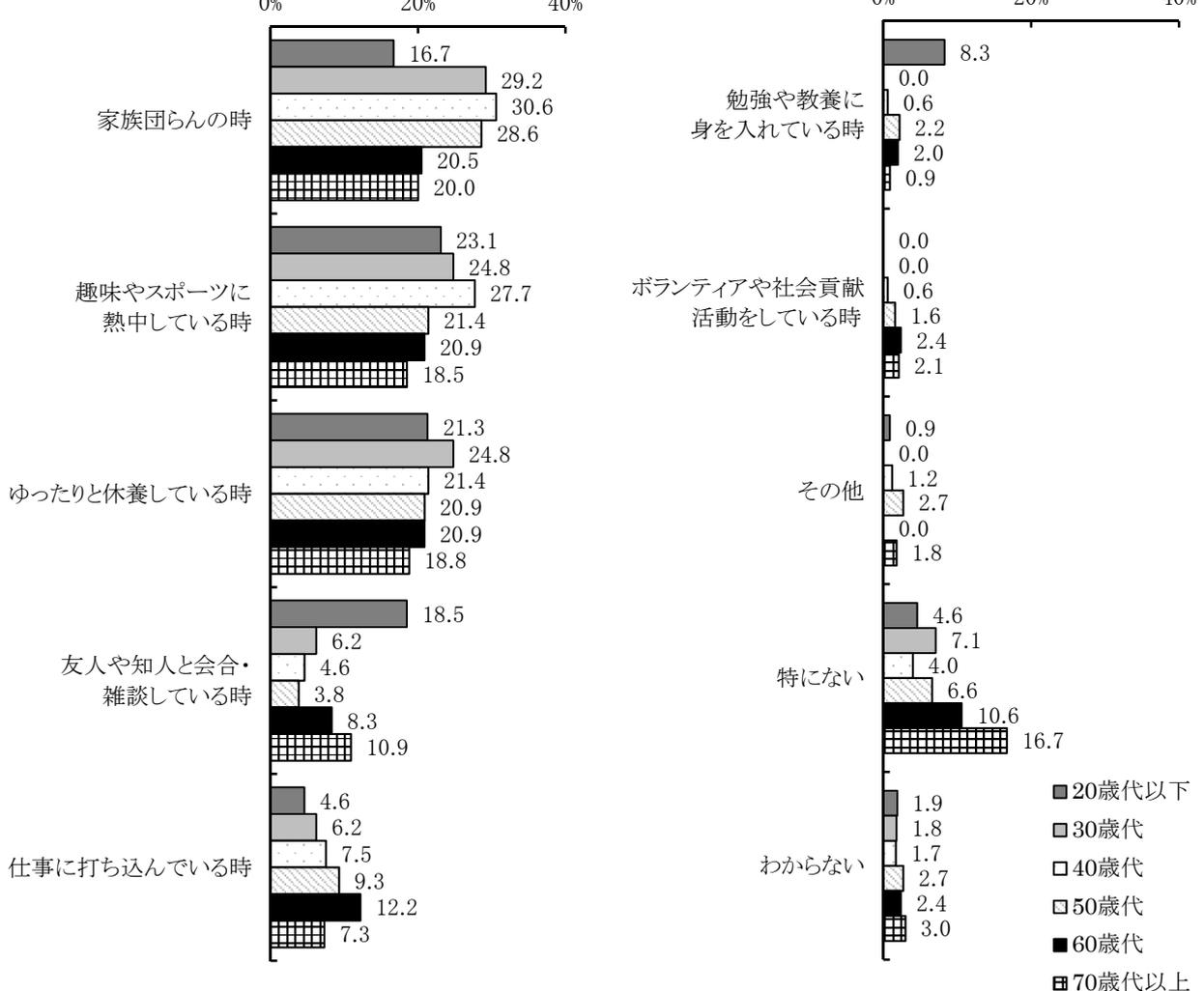
また、前回調査と比較すると、男性では「趣味やスポーツに熱中している時」が5.2ポイント増加し、女性では「ゆったりと休養している時」が4.4ポイント増加している。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代以下では、「趣味やスポーツに熱中している時」、30歳代から50歳代及び70歳代以上では、「家族団らんの時」、60歳代では、「趣味やスポーツに熱中している時」及び「ゆったりと休養している時」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、前回調査と比較すると、60歳代を除く全ての年齢層で、「ゆったりと休養している時」と答えた人の割合が増加している。

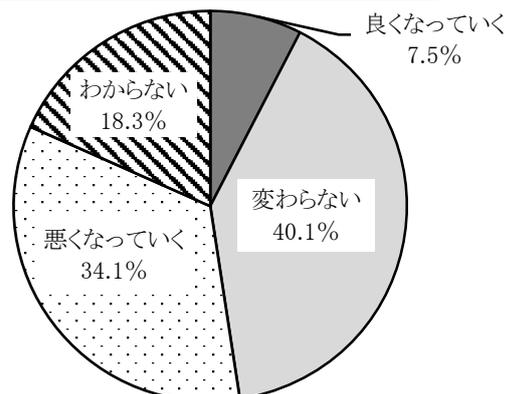


問 11 暮らしの先行き観

お宅の暮らしは、これから先、良くなっていくと思いますか。それとも悪くなっていくと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

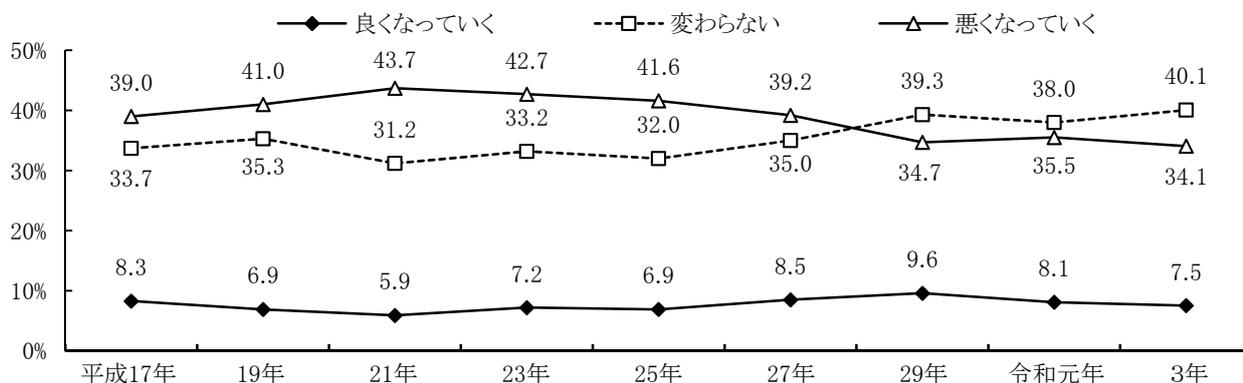
	(%)
1 良くなっていく	7.5
2 変わらない	40.1
3 悪くなっていく	34.1
4 わからない	18.3

暮らしがこれから先、良くなっていくと思うか、それとも悪くなっていくと思うかを聞いたところ、「変わらない」と答えた人の割合が40.1%と最も多く、「悪くなっていく」が34.1%、「良くなっていく」が7.5%となっている。



【経年変化】

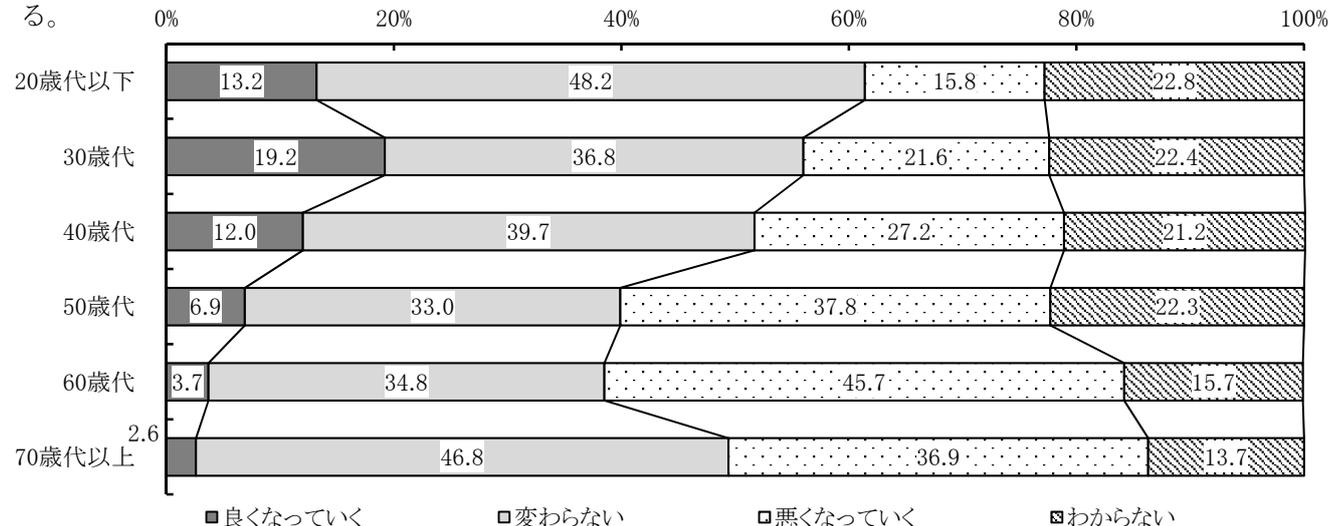
前回調査と比較すると、「悪くなっていく」と答えた人の割合は、1.4ポイント、「良くなっていく」は、0.6ポイント減少し、「変わらない」は、2.1ポイント増加している。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳代及び60歳代を除く全ての年齢層で、「変わらない」と答えた人の割合が最も多く、50歳代及び60歳代では、「悪くなっていく」が最も多くなっている。

また、「良くなっていく」と答えた人の割合は、30歳代が19.2%と他の年齢層と比較して多くなっている。

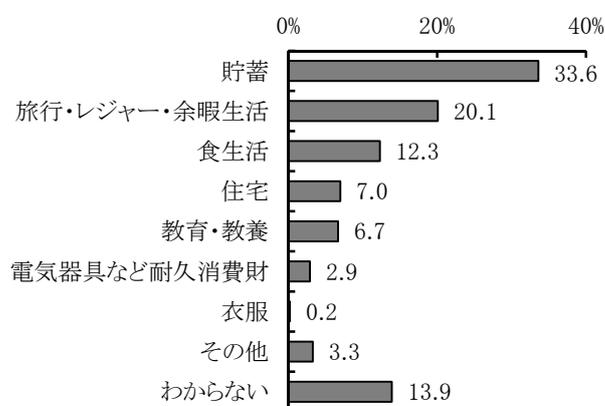


問 12 改善したい暮らし向き

今後、お宅の暮らしでどのような面に力を入れたいと思いますか。次の中から二つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 食生活	12.3
2 衣服	0.2
3 電気器具、家具、自動車など耐久消費財	2.9
4 住宅	7.0
5 貯蓄	33.6
6 教育・教養	6.7
7 旅行・レジャー・余暇生活	20.1
8 その他	3.3
9 わからない	13.9

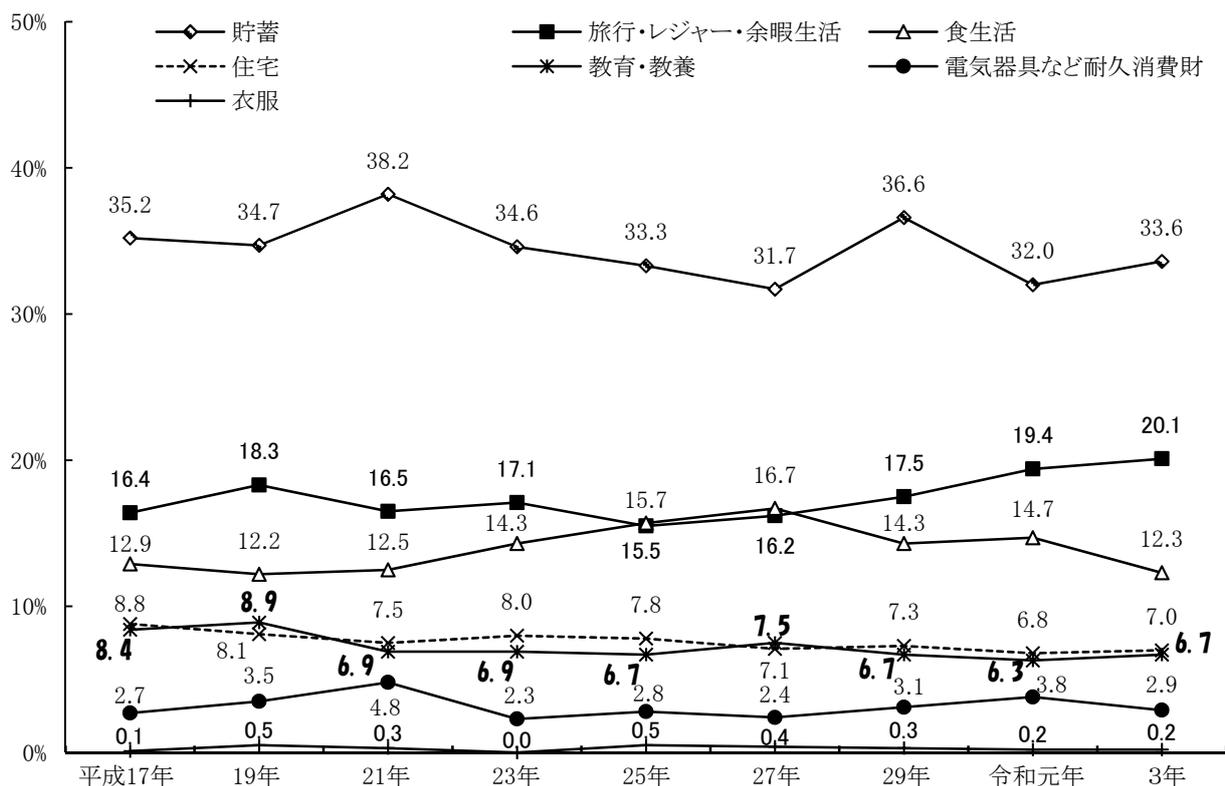
今後の暮らしでどのような面に力を入れたいかを聞いたところ、「貯蓄」と答えた人の割合が33.6%と最も多く、以下「旅行・レジャー・余暇生活」(20.1%)、「食生活」(12.3%)、「住宅」(7.0%)、「教育・教養」(6.7%)などの順となっている。



【経年変化】

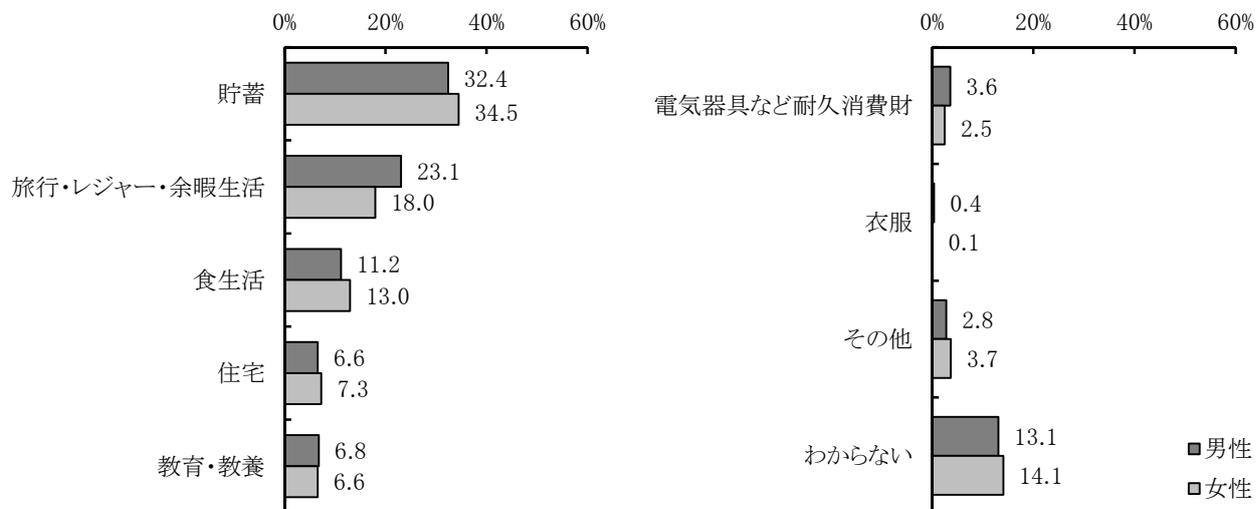
前回調査と比較すると、「貯蓄」と答えた人の割合は、1.6ポイント増加し、「食生活」は2.4ポイント減少している。

また、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合は、平成25年調査以降増加傾向にあり、前回調査より0.7ポイント増加している。



【性別】

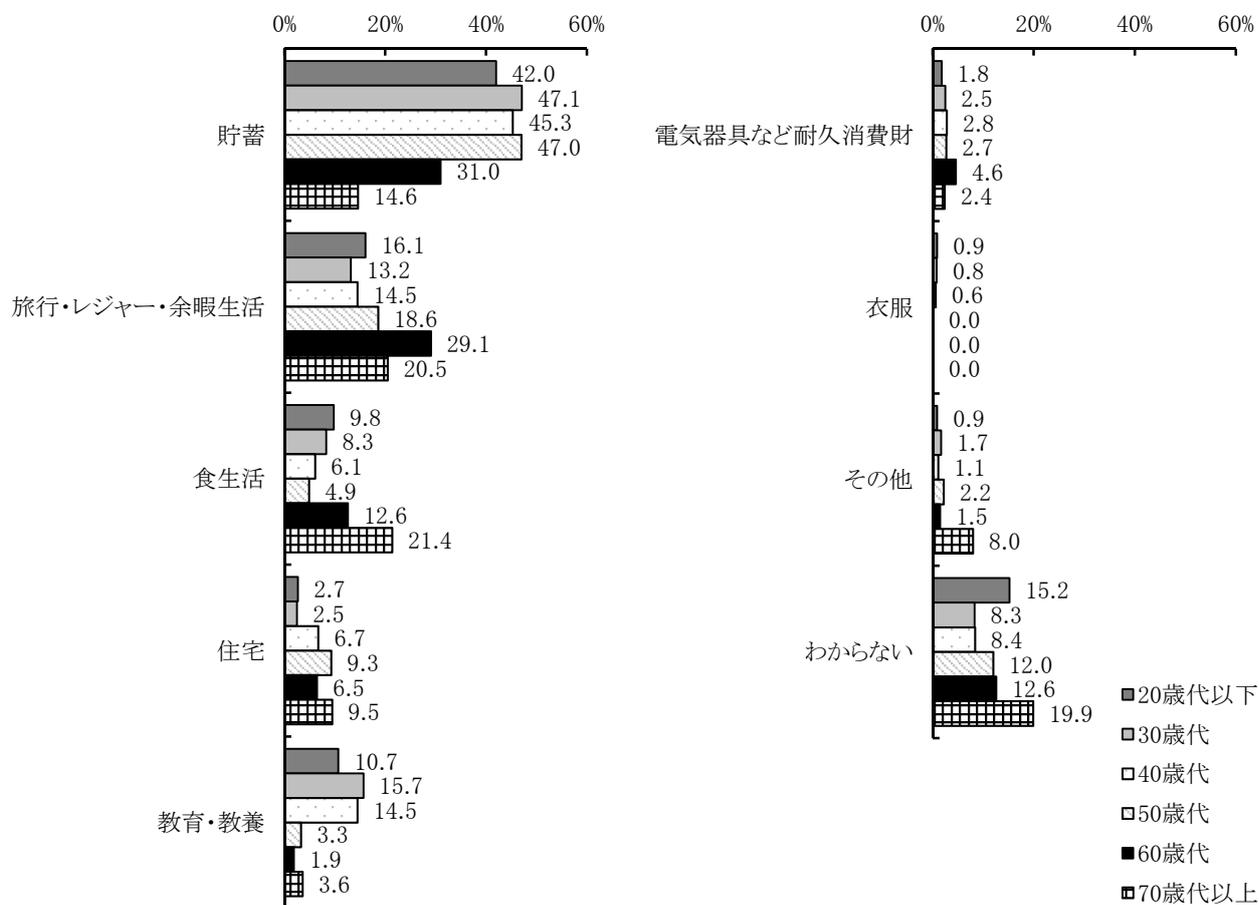
性別にみると、男女共に「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、女性（34.5%）の方が男性（32.4%）より2.1ポイント多くなっている。また、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合は、男性（23.1%）の方が、女性（18.0%）より5.1ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、70歳代以上を除く全ての年齢層で、「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、70歳代以上では、「食生活」が最も多くなっている。

また、前回調査と比較すると、50歳代では「貯蓄」と答えた人の割合は、10.4ポイント増加しているが、「旅行・レジャー・余暇生活」は8.8ポイント減少しており、30歳代では「住宅」と答えた人の割合が11.0ポイント減少している。



問 13 今後の暮らしに対する考え方

今後の暮らしについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次の中から二つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい	23.2
2 まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい	20.6
3 一概にはいえない	42.0
4 わからない	14.2

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いませんか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

《「心の豊かさやゆとり」の具体的内容》

(回答者=260人) (%)

1 精神修養・自己研さんに努める	5.4
2 趣味や習い事に生きがいを見つける	15.4
3 健康を大切にする	44.2
4 家族・友人とのふれあいを大切にする	25.4
5 ボランティアなど社会のためにつくす	4.2
6 自然とのふれあいを大切にする	5.0
7 その他	0.4
8 わからない	0.0

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いませんか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

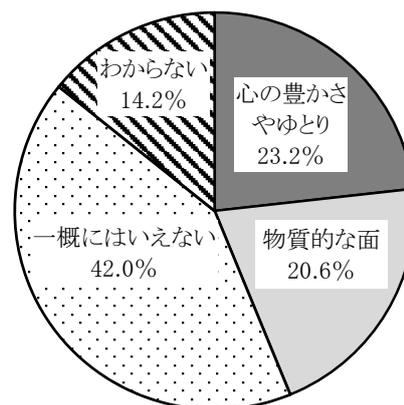
《「物質的な面」の具体的内容》

(回答者=232人) (%)

1 おいしいものをたびたび食べる	12.1
2 耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし	23.3
3 広くて設備の整った家に住む	26.3
4 趣味・娯楽に関する良いものを購入する	18.1
5 衣服や身の回りのおしゃれができる	6.0
6 その他	7.3
7 わからない	6.9

今後の暮らしについて、心の豊かさか物の豊かさかどちらに重点をおきたいと思うかを聞いたところ、「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」（ゆとり派/以下「心の豊かさやゆとり」という。）と答えた人の割合が23.2%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」（物質派/以下「物質的な面」という。）の20.6%より2.6ポイント多くなっている。

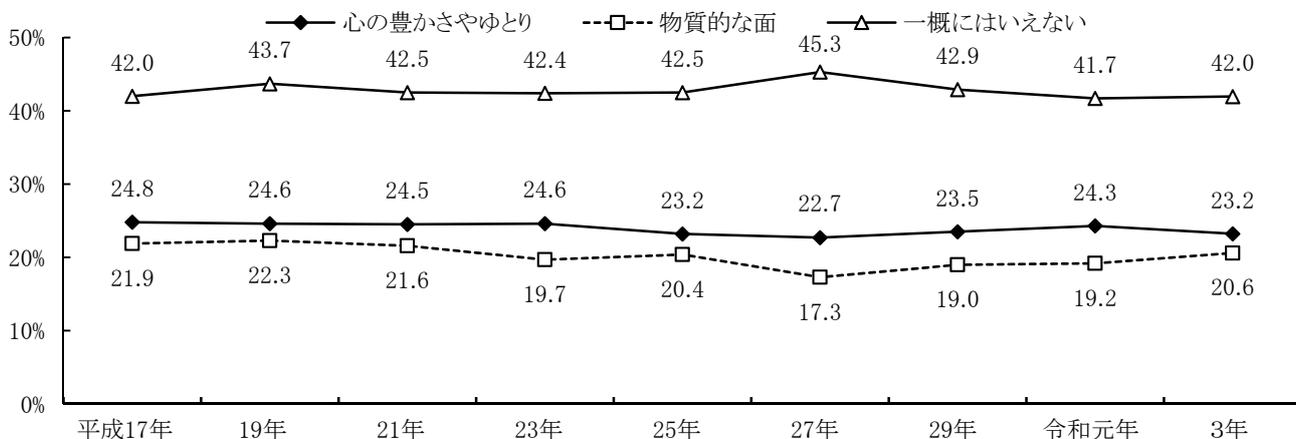
また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は、42.0%となっている。



【経年変化】

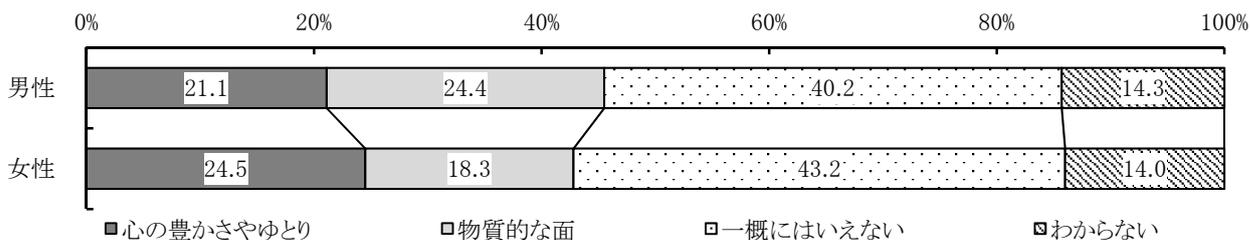
経年変化をみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、平成17年調査以降20%台で推移しているが、前回調査と比較して、1.1ポイント減少している。また、「物質的な面」と答えた人の割合は、平成27年調査以降増加傾向にあり、前回調査と比較して、1.4ポイント増加している。

一方、「一概にはいえない」と答えた人の割合は、平成17年調査以降40%台で推移している。



【性別】

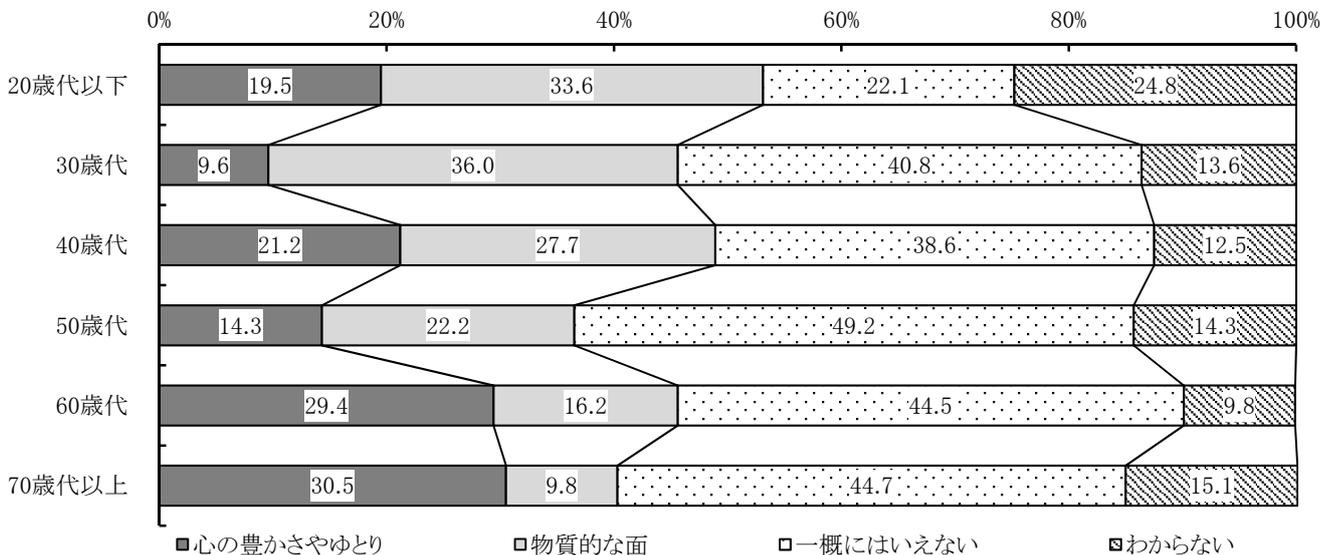
性別にみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、女性（24.5%）の方が男性（21.1%）より3.4ポイント多くなっているが、「物質的な面」は、男性（24.4%）の方が女性（18.3%）より6.1ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、70歳代以上（30.5%）で最も多く、30歳代（9.6%）で最も少なくなっている。一方、「物質的な面」と答えた人の割合は、年齢層が低くなると多くなる傾向になっており、30歳代（36.0%）で最も多く、70歳代以上（9.8%）で最も少なくなっている。

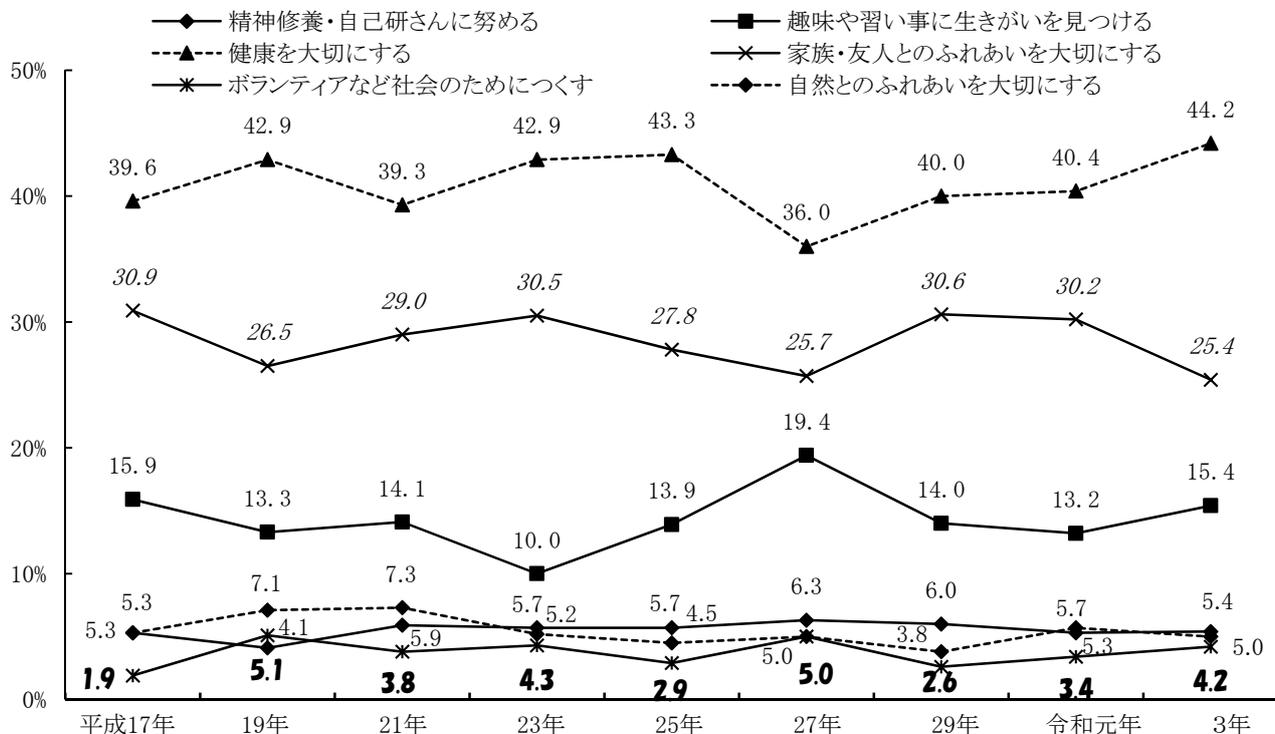
また、前回調査と比較すると、「一概にはいえない」と答えた人の割合は、20歳代以下で9.0ポイント減少し、50歳代で3.5ポイント、30歳代で11.1ポイント増加している。



《「心の豊かさやゆとり」の具体的内容》

「心の豊かさやゆとり」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「健康を大切にする」と答えた人の割合が44.2%と最も多く、以下「家族・友人とのふれあいを大切にする」(25.4%)、「趣味や習い事に生きがいを見つける」(15.4%)などの順となっている。

また、経年変化をみると、前回調査と比較して、「健康を大切にする」と答えた人の割合は、3.8ポイント増加し、平成27年調査以降増加傾向になっている。一方、「家族・友人とのふれあいを大切にする」と答えた人の割合は、4.8ポイント減少している。



《「物質的な面」の具体的内容》

「物質的な面」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合が26.3%と最も多く、以下「耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし」(23.3%)、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」(18.1%)などの順となっている。

また、前回調査と比較すると、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合は、6.6ポイント増加し、「耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし」は、1.8ポイント減少している。

